

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童・放課後デイHOPE		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年11月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援においては、個別で対応している。	個別で支援を行うことによって、お子さんの発達年齢に合わせた支援を行うことが出来ている。	お子さん一人一人に寄り添った療育支援を続けて行く。
2	一コマの児童の人数に対して職員3-4名で手厚い療育を行っている。	お子さん一人一人に寄り添った療育を心がけている。	
3	集団と個別の両方の療育を行っている。特に土曜日の療育は課外活動やクッキングなどを行い、社会性、協調性を身につける環境を整えている。	土曜日は平日とは違い、決まったお子さんだけでなく、他曜日のお子さんも参加することにより、協調性やコミュニケーション力の向上に繋がるよう取り組んでいる。	課外活動の中でもボランティア活動や自然に触れ合うことなど色々なプログラムを用意し、様々な体験を通して良い成長を繋がるよう心がけている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室がマンション2階ということもあり、子ども達も身体が大きくなってくると、子ども達の動きにより近隣の迷惑にならないよう、子ども達に動きを制限することがある。	教室自体は認可を受けているため決して狭くはないが、集合住宅ということでご近所に迷惑にならないよう気を付けている。	教室の広さを広げることは現実的にはむずかしい。土曜日の集団活動時を利用して子ども達が思いっきり身体を動かせるプログラムを行う。
2			
3			